

令和7年度 事務事業評価シート（１）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	成人保健指導事業				事業番号	011-198	
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現		
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4	
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			さかい健康プラン					
3	事業開始年度			平成 14 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			健康増進法、食育基本法、歯科口腔保健の推進に関する法律、堺市歯科口腔保健推進条例					

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁、各区					
6	事業の対象		40歳以上の堺市民				対象数	単位
							511,253	人
7	事業の目的		市民が、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、生涯にわたって健康状態を自覚することで、健康増進につながり、質の高い日常生活が得られることをめざす。					
8	事業内容		・健康に関する普及啓発 保健医療関係団体等と連携・協働し、食や運動、禁煙、歯と口の健康、各種健（検）診の受診勧奨等、健康に関する知識の普及啓発を行う。 ・各種教室や健康教育、健康相談の実施 市民の健康増進を図るための各種教室や健康教育、健康相談を実施する。また、運動や学習など市民が主体的に健康増進活動に取り組めるようグループの育成やグループ間交流、学習会等を行う。 また、堺市口腔保健センターにおいて、歯科検診・相談、歯磨き指導等を行う。 ・訪問指導 保健指導が必要な市民やその家族に対して、保健師等の専門職が訪問し、必要な指導を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容							
9	主な支出先		一般社団法人堺市歯科医師会					
10	公民連携・協働事業							

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	健康教育参加者数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	14,000	14,000	14,000	14,000
			実績値	11,431	13,069		
	達成率	82%	93%				
当該指標を選定した理由		健康教育を行うことで、市民の行動変容を促し、健康チェック等健康行動につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		実績値から算出。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	健康教育実施回数	回		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	700	700	700	
			実績値	601	479		
			達成率	86%	68%		
	当該指標を選定した理由		生活習慣病の危険因子と関連する生活習慣や、健やかな生活習慣の形成に向けた健康教育を実施することで、市民の行動変容につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		実績値から算出。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	成人保健指導事業	事業番号	011-198
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	6,198	7,538	8,009	7,379	7,930
	国支出金	2,009	2,053	2,524	1,719	3,295
	財 府支出金	0	0	0		0
	源 市債	0	0	0		0
	内 其他（ ）	0	0	0		0
	訳 受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	4,189	5,485	5,485	5,660	4,635
14	人件費（b）	2,460	2,430	2,430	2,430	2,520
15	年間経費（c）=(a)+(b)	8,658	9,968	10,439	9,809	10,450

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度		事業費	うち 一般財源
		医師報酬	R6	決算	654	318	委託料	R6	決算	3,259	2,815		
			R7	予算	1,352	534		R7	予算	2,900	1,939		
		謝礼金	R6	決算	1,710	1,256	会場等借上料	R6	決算	6	4		
			R7	予算	2,107	1,414		R7	予算	38	7		
		普通旅費	R6	決算	40	26	役務費	R6	決算	80	49		
			R7	予算	40	27		R7	予算	134	82		
		需用費	R6	決算	1,430	992	負担金、補助及び交付金	R6	決算	200	200		
			R7	予算	1,159	432		R7	予算	200	200		
		-	R6	決算	0	0	-	R6	決算	0	0		
R7	予算		0	0	R7	予算		0	0				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 健康教育参加者数	回	11,431	13,069
	② 上記①にかかる年間経費	千円	9,968	9,809
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	872	751
算出についての説明等		主な取り組みである健康教育について算出した。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	食や運動、歯と口の健康、各種健（検）診の受診勧奨、血压などの健康管理等、対象者に適するテーマで成人期の市民の健康増進を目的に事業を実施した。 健康教育の実施回数は減少したが、1回あたりの参加人数定員を増やす等の工夫により、参加者数は増加しており、効率的に実施できたと評価する。 また、企業と連携した取組により、市が負担する経費を減らし、効果的な事業展開を行った。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	保健師をはじめとする専門職が、市民に対し、健康教育や健康相談、保健指導等の様々な機会を通じ、生活習慣の改善や健康管理の重要性を伝えることが、市民が主体的に健康増進活動を始めたり継続する機会となった。また市民が健康増進活動を継続することは、主要な死因である生活習慣病の危険因子の軽減につながることから、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したと考える。
----	--